

「健康／安全」は、従業員のためにすべてにおいて優先する。

富士フイルムマニュファクチャリング株式会社 鈴鹿事業所

業種：事務用機器等 製造業

従業員数：約1,350名

所在地：鈴鹿市

令和5年度の具体的取組

- ① 働く女性のためのライフプラン教育と男性育休教育 [女性の健康増進・ダイバーシティ]
- ② 禁煙啓発活動(喫煙率のさらなる低減に向けて)の実施 [保健指導、受動喫煙対策]
- ③ がん検診の受診率を向上させる取り組み [がん予防と治療のための受診勧奨・保健指導]
- ④ 睡眠時無呼吸症候群の検査と治療を通じた災害リスクの低減 [労働災害/通勤災害]
- ⑤ 事業所感謝祭での健康推進イベントの実施 [従業員参加型イベントの充実・健康リテラシー]

令和5年度の取組成果

① 『女性従業員が健康で働きやすい職場』となるために、産婦人科医による「女性のためのライフプラン教育」を開催。男性従業員の参加も促すことで、女性特有の「疾患の特徴」と「治療・育児と就労の両立支援」の重要性について職場全体の理解の醸成と、『男性育児支援』として育児休業取得制度を説く等、職場におけるダイバーシティを推進しています。



② 『禁煙啓発活動』として、従業員家族も含めた「受動喫煙防止」対策の重要性等について情報発信を継続。禁煙意志のある従業員には、卒煙応援活動(禁煙冊子配布・保健指導・健康保険組合の禁煙補助プログラム推奨)等、「集団」と「個別」の両面からアプローチしています。

③ 『がん検診の受診勧奨』では、従業員に「早期発見・早期治療の大切さ」を周知し、胃・大腸・子宮・乳がん検診の受診勧奨を継続。重点施策とした大腸内視鏡を用いた大腸がん検診では希望者全員の受診を完了、その約40%で大腸ポリープを発見・早期治療を終えています。こうした検診実績(個人情報を含まず)は健康保険組合の検診補助制度と合わせて速やかに従業員にフィードバックすることで、更なる受診希望者の増加に働きかけています。

④ 『健康と安全のリスク低減』のため事前問診等で高リスク疑いと判定された従業員について睡眠時無呼吸症候群簡易スクリーニング検査を実施。「要治療」従業員へのサポートを進めることと並行し、全従業員に対する「睡眠教育」「生活習慣変容(7つの健康行動)」を通じて職場および通勤途上(居眠り運転)の安全と生産性の向上に努めています。

⑤ 事業所感謝祭において『健康推進企画ブース』を出店し、従業員とその家族や地域住民(多数の小児含む)にヘルスチェック(酸素飽和度/握力/体内時間感覚テスト等)・ウォーキングクイズ(会場内全体を回るウォークラリー)など、楽しみながら健康について学ぶ機会を提供。更に、大腸がんクイズ・すずか健康マイレージの登録推進活動を行政(鈴鹿市)と協働し実施することで、行政・地域・職域のつながりを強化しています。



今後の取組

前年度に引き続き、ライフプラン教育や生活習慣の改善・がん検診などワークエンゲージメント向上に向けて継続的に活動します。また、24年度はDE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)を取り組んでいき、女性活躍推進(公正な支援)／仕事と家庭の両立(育児・介護支援の充実)／男性の育児参画(当たり前の風土)について、強化施策を展開していきます。

従業員一人ひとりが誇りをもって働ける素晴らしい会社にしていくために、志を高く持って全力で取り組みます。